

① 町の公園の在り方について

町長は、「住みたい・住みたい・住んで良かった」と感じるようなまちづくりをテーマにかかげています。そのテーマに沿った長与町のまちづくりのひとつとして“公園の在り方”について考えてみました。町の公園は各地域の皆さんが楽しんで利用できるよう、それぞれの場所でその役割を十分に果たしてきましたが、急速に進む少子高齢化の中で、現在の利用状況やこれからの公園の役割や在り方について、検証してみる必要があります。

子どもたちを取り巻く環境も変化してきており、公園で遊ぶ子どもの減少や、遊具の撤去、遊ぶ内容の規制など本来の目的が大きく削がれているように思えます。一方、増加する高齢者にとって公園は新たな憩いの場となりつつありますので、各公園がそれぞれの役割を果たすために、より一層の充実が必要と考えます。

そこで、以下の質問を行います。

- (1) 長与町の公園管理について基本的な考えを伺いたい。
- (2) 長与町の公園の利用状況はどのようになっているか。
- (3) 子どもが楽しむ遊具についての考え方を伺いたい。
- (4) 高齢者の憩いの場として利用促進に向けての考え方を伺いたい。

② 町の道路状況について

年々増加する自動車の数は、交通渋滞や交通事故を招く大きな要因となっています。先月も町内において死亡事故が発生しましたが、交通事故防止について、車と道路の安全確保が重要な課題となります。

町内の交通事故は減少傾向にありますが、今後も事故のない長与町を目指して、計画的且つ有効な対策の実行が強く望まれるところです。

その中で今回、自動車と比較して弱い立場にある歩行者（子ども・高齢者・身体障害者）の安全確保を図るために「歩道」に絞り、町の施策をお伺い致します。

- (1) 歩道の管理基準について伺いたい。
- (2) 歩道の整備計画はどのように行っているか。
- (3) 歩道の危険箇所は把握しているか。（学校周辺や通学路・商店街・住宅地等）
- (4) 高齢者、身体障害者等の弱者に対して歩道の安全施策を伺いたい。
- (5) 歩道を利用する電動車いす利用者への対応はどのようにおこなわれているか。